

子どもの視点で、未来をつくる。

子どもの参画をテーマに キッズデザイン賞が大きく生まれ変わります

『第20回 キッズデザイン賞』 3月2日(月)より募集開始！

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 後援：経済産業省、内閣府、消費者庁、こども家庭庁、東京都

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会は、第20回キッズデザイン賞の応募を3月2日～5月12日13時まで受け付けます。キッズデザイン賞は2007年の設立以来、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・サービス・空間・研究・活動などを表彰し普及を後押しすることで、子どもを産み育てやすい社会づくりを目指してきました。このたび、20周年を迎えるにあたり、大きくリニューアルを実施いたします。リニューアルの内容の詳細は2ページ目以降をご覧ください。

キッズデザイン賞は、「子ども自らが次の社会づくりに参画する」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもたちが安全・安心に日々を暮らせる」「誰もが当事者として子育てに参加する」これらの目標を実現するための優れた製品・サービス・空間・活動・研究を顕彰する制度です。子どもが使ったり、子ども向けにつくられたものだけでなく、子どもの視点を持っている、すべての製品・サービス・空間・活動・研究が対象です。保育用品、玩具、文具、家電製品、生活用品、住宅環境などはもちろんのこと、アプリケーションやICT、SDGs関連、STEAM教育、地域活性など幅広い業界からの応募をお待ちしております。



KIDS
DESIGN
AWARD
2026



キッズデザイン賞最優秀賞受賞作品の一部

第20回キッズデザイン賞 開催概要

- 募集期間：2026年3月2日（月）～ 5月12日（火） 13時
Webサイトで応募受付
- 受賞発表：8月19日（水）キッズデザイン賞受賞作品発表
9月上旬 最優秀賞などのノミネート作品発表
9月中旬 最優秀賞ほか上位賞発表
- 表彰式：10月2日（金）最優秀賞などの表彰
- 賞の構成：審査を通過した作品がキッズデザイン賞として顕彰されます。
さらにその中から最優秀賞などの賞が選出されます。

【最優秀賞】	内閣総理大臣賞
【優秀賞】	経済産業大臣賞 / 消費者担当大臣賞
	こども政策担当大臣賞 / 男女共同参画担当大臣賞
【奨励賞】	キッズデザイン協議会会長賞
【特別賞】	審査委員長特別賞 / 東京都知事賞 / TEPIA特別賞 ※各賞名は予定

- 審査料：66,000円（税込）/1作品につき
- ・審査料について、詳細はWebサイトをご覧ください。
- ・都内中小企業は、条件により東京都による審査料補助（正式決定は3月末予定）の申請が可能です。



3月2日（月）からWebサイトで応募受付開始！ <https://kidsdesignaward.jp>

子どもの視点で、未来をつくる。

「子どもの参加・参画部門」を新設、4部門に拡充します

既存の3つの部門に「子どもの参加・参画部門～子どもたちを主役として社会や未来をつくりだすデザイン」を追加し、既存の3部門も内容を刷新します。新部門は、子どもたちを中心として社会や未来をつくりだすデザインとして、子どもの参加・参画によって、社会、地域、組織等に変革を促す製品、サービス、建築・空間、活動、研究などを対象とするものです。

＜4つの応募部門＞

子どもの参加・参画部門

感性・創造性育成部門

安全・安心向上部門

出産・子育て支援部門

＜8つの応募カテゴリー＞

プロダクト

建築・空間
(施設・施設用設備)

コンテンツ・サービス
(子ども向け)

コミュニケーション
(子ども向け)

調査・研究

建築・空間
(住宅・住宅用設備)

コンテンツ・サービス
(保護者・事業者向け)

コミュニケーション
(保護者・事業者向け)

審査委員会が新体制になり、新たな審査委員が多数参加します

部門の拡充に伴い、これまでのキッズデザイン賞の考え方を踏まえながら、さらに多様な分野の専門家を新たな審査委員として迎え、より多角的な視点から審査を行います。審査委員会の詳細は別添1をご参照ください。

各大臣賞が部門横断で、すべての受賞作品から選出されます

賞構成をリニューアルし、内閣総理大臣賞以外の各大臣賞は、評価ポイントをより明確にした「テーマ賞」として位置づけられます。各大臣賞はすべての受賞作品の中から、各テーマごとに特に優れた作品が表彰されます。賞構成の詳細は別添2をご参照ください。

すべての応募作品にフィードバックを実施します

第20回より、受賞に至らなかった作品に5段階の評価スコアによるフィードバックを実施いたします。これにより、作品のさらなる向上や次回応募への参考とすることができます。

受賞メリット多数、これまでに4000点を超える優れた子ども視点の作品が受賞

キッズデザイン賞を受賞することで様々なメリットがあります。iF DESIGN AWARD 2027のパートナーシップ連携協定では、第20回キッズデザイン賞受賞作品に対して、iF DESIGN AWARD 2027の応募登録費用の免除などの特典が与えられます。受賞した作品はキッズデザインマークの使用ほか、PRツールでの受賞をアピールすることができます(いずれも有償)。受賞作品は公式サイトやSNSでの配信、各種展示会での紹介なども実施します。

＜キッズデザインマーク＞



マーク活用で取り組み周知・認知促進

＜表彰状・トロフィー＞



PRツールによる受賞アピール

＜受賞作品紹介サイト＞



受賞作品の評価ポイントを紹介

＜メディアでの紹介＞

メディアに取り上げられる機会が増えることで注目度、認知度も高まります。

＜SNSやイベントでの受賞連携＞

キッズデザイン協議会独自や自治体等との連携イベント、各種SNSやキッズデザインマガジンを通じて、広く受賞作品を紹介します。

エントリー料改訂のお知らせ

近年の社会的経済環境の変化を受け、また賞の品質維持・サービス向上のため、エントリー料を改訂させていただきます。

66,000円(税込) / 1作品につき

- 特定非営利活動法人単独応募の場合：16,500円(税込)
- 調査・研究カテゴリーに応募の場合：無料
- 自治体・国公立機関(学校・病院・博物館等)単独応募の場合：16,500円(税込)

※各区分にはそれぞれ条件がございますので詳しくは応募要項をご確認ください。

子どもの視点で、未来をつくる。

キッズデザイン賞20周年・リニューアル発表会が開催されました

5子のパパ・杉浦太陽さんが登壇、キッズデザインの魅力を語りました

2月19日、第20回キッズデザイン賞の大幅リニューアルにあたり、「キッズデザイン賞20周年・リニューアル発表会」が東京・大手町のKDDIホールで開催されました。特別ゲストに5子の父であり、日々子育てと向き合う俳優の杉浦太陽さんを迎え、キッズデザインの魅力を語っていただきました。

トークセッションでは、山中敏正審査委員長、米谷明子審査委員とともに、「もしキッズデザイン賞へ応募するなら」との問いに、「4WAY抱っこ肩車紐」のアイデアを出していただきました。その理由として「新生児用の抱っこ紐とかがありますが、その期間が終わると抱っこ紐の役割を終えてしまうので、ある程度大きくなっても使えるものがないですね」と5子の子育てをしている杉浦さんならではの視点。「先日、家族で動物園に行ったとき三男を肩車したら意外と重たくて。4WAY抱っこ肩車紐があればパパが肩車に耐えられる限界の歳まで使えるかなと思います」と声を弾ませました。

ご自身の子育て経験に触れながら、楽しいトークが繰り広げられました。5年、10年後の子育てパパ、ママがうらやましくなるようなデザインが世の中にあふれてくれたら、とキッズデザインへの期待を語っていただきました。

また、キッズデザイン賞がこれまで歩んできた20年の軌跡を振り返り、新設される「子どもの参加・参画部門」や新たな審査委員会の体制について発表いたしました。



プロモーションパートナー



TOPPAN



【本件に関するお問合せ先】

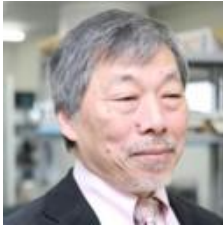
「第20回キッズデザイン賞」事務局

TEL : 03-5405-2142 (平日10:00-17:00) MAIL : 2026kids@kidsdesign.jp

主催：特定非営利活動法人キッズデザイン協議会 TEL : 03-5405-2141 FAX : 03-5405-2143

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル7階 <https://kidsdesign.jp/>

審査委員長



山中 敏正

筑波大学 特命教授／名誉教授

副審査委員長



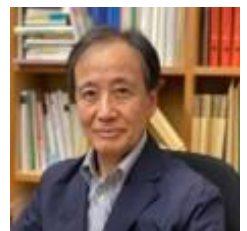
金子 嘉宏

国立大学法人東京学芸大学教授 /
教育インキュベーションセンター長



持丸 正明

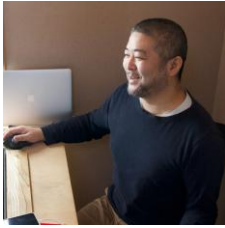
国立研究開発法人産業技術
総合研究所 フェロー



山中 龍宏

小児科専門医 /
NPO法人Safe Kids Japan顧問

審査委員



会田 大也

ミュージアム・エドゥケーター /
合同会社the paper 代表社員



五十嵐 久枝

インテリアデザイナー / イガラシデザイン
タジオ 代表 / 武蔵野美術大学教授



大泉 義一

早稲田大学 教育・総合科学
学術院教授



岡崎 章

拓殖大学工学研究科 情報・
デザイン工学専攻主任



岡崎 智弘

グラフィックデザイナー



北野 幸子

神戸大学大学院 人間発達環境
学研究科 人間発達専攻教授



金野 千恵

teco 代表 / 京都工芸織
維大学 特任教授



式地 香織

式地香織建築設計事務所 / コドモチョウナ
イカイ事務局 代表 / 伊東建築塾 子ども
建築塾 講師 / 日本大学理工学部建築
学科 非常勤講師



竹内 昌義

東北芸術工科大学デザイン工学部建築
・環境デザイン学科 教授 / 『みかんぐみ』
共同代表 / エネルギーまちづくり社 代表
取締役 / パッシブハウスジャパン理事



田崎 咲絵

プロダクトデザイナー / Bloom Sketch
代表 / 東京工科大学 講師 / 日本イン
ダストリアルデザイン協会 理事



中村 俊介

株式会社しくみデザイン
代表取締役 / 博士（芸
術工学）



成瀬 友梨

株式会社成瀬・猪熊建築設計
事務所 代表取締役



西田 佳史

国立大学法人東京科学大学
教授



橋田 規子

プロダクトデザイナー /
芝浦工業大学 教授



林 秀紀

桜美林大学 芸術文化学群 准教授
/ プロダクトデザイナー



美谷島 克宏

東京農業大学 応用生物科学部
食品安全健康学科 教授



森本 千絵

コミュニケーションディレクター /
アートディレクター



山田 紗子

山田紗子建築設計事務
所 代表



米谷 明子

たまひよ統括編集長 / 株式
会社ベネッセコーポレーション



渡 和由

UR都市機構 東日本都市再生本部
事業企画部 参与

第20回キッズデザイン賞 賞構成

内閣総理大臣賞								
最優秀賞								
	安全・安心賞 経済産業大臣賞	新価値創出賞 経済産業大臣賞	社会課題解決賞 経済産業大臣賞	クリエイティブ賞 経済産業大臣賞	消費者育成賞 消費者担当大臣賞	こども・子育て環境賞 こども政策担当大臣賞	こども・子育て家庭賞 こども政策担当大臣賞	協働協育賞 男女共同参画担当大臣賞
テーマ賞								
	東京都知事賞 ※安全・安心向上部門から選出							
特別賞	TEPIA(一般財団法人 高度技術社会推進協会)特別賞							

全受賞作品から選出

部門	子どもの参加・参画部門	感性・創造性育成部門	安全・安心向上部門	出産・子育て支援部門
	キッズデザイン協議会会長賞	キッズデザイン協議会会長賞	キッズデザイン協議会会長賞	キッズデザイン協議会会長賞
(各部門から2～3点)	審査委員長特別賞	審査委員長特別賞	審査委員長特別賞	審査委員長特別賞
(各部門から2～3点)				

各部門の受賞作品から選出

キッズデザイン賞（審査通過作品）